

＝市史編さん便り＝ 【58号】 令和6年1月16日(火)発行

*****土佐清水市教育委員会・市史編さん室

土佐清水市史編さん関係行事のお知らせ

1月24日(水) 14:00～16:00 市役所2階第1会議室

令和5年度第2回土佐清水市史編集委員会

25日(木) 9:30～11:00 足摺岬小学校

社会科学習出前講座(昔の道具、中浜万次郎)

27日(土) 14:00～16:00 下ノ加江小学校

参観日児童・保護者会歴史出前講座(校区の歴史)

29日(月) 11:30～12:15 清水小学校

ふるさと学習(中浜万次郎講座)

市史編さんの取り組みもいよいよラストスパートとなりました。今月24日の編集委員会は、実質的に最終校正となります。ここにきて出前講座の依頼が月末に集中してきました。清水小と足摺岬小は、ふるさと学習絡みでの中浜万次郎関係の講座になります。下ノ加江小は、3月末に休校となり、それに関わる校区の歴史を話してもらいたいという依頼です。保護者や地域の方も児童に交じり受講するということですので責任重大です。良い話ができるよう頑張ります！



↑下ノ加江小学校

↑足摺岬小学校

↑清水小学校

～下ノ加江小学校 150年の歴史に幕～

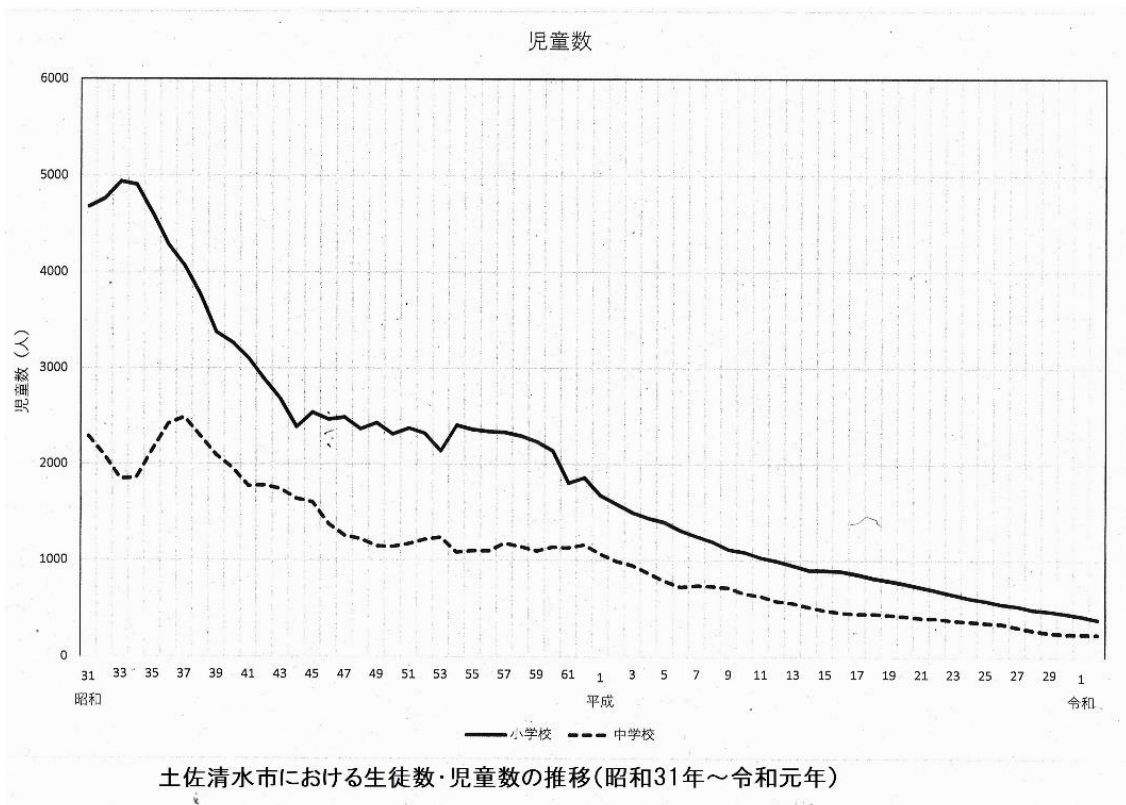
令和5年度で下ノ加江小学校が休校となります。約70年前(昭和29年8月1日)、下ノ加江町・清水町・三崎町・下川口町の4町が合併し、土佐清水市が誕生しました。土佐清水市になる前は、校区一帯は「下ノ加江町」に所属していました。それ以前は、「伊豆田村」でした。

平成8年に立石小、同17年に布中、同21年に布小、同25年に下ノ加江中と

この27年間に旧下ノ加江町に所在していた小中学校の灯火が次々と消えていきました。そして、最後に残った学校が「下ノ加江小」です。

明治6年(1873)の小学校令により、小方地区田村遠平旅館の位置に「月江舎」という名称の塾が設置されます。この塾が後に下茅北小学校となり、現在の下ノ加江小学校の前身です。

その後、明治8~9(1875~76)年頃、小方小路後下水路に校舎は移築されました。更に大正9年(1920)8月15日、県西部を襲った台風による水害で校舎が水没し、その年(大正9年)に現在の位置に校舎が移転しました。



上のグラフは、昭和31年~令和元年までの「土佐清水市における生徒数・児童数の推移」をあらわしています。実線が小学校の児童数の推移、点線が中学校の生徒数の推移です。

小学校の児童数は、昭和33年の4,930人をピークに減少し、昭和42年には半分以下の2,000人台となり、昭和60年まで横ばいとなり、2,000人台で推移している。昭和61年以降、徐々に減少となり、令和2年には、368人にまで減少しました。ピークが5,000人、現在400人を切る現状です。中学校でも、昭和37年の2,492人をピークに現在235人となり、ピーク時の10分の1となりました。このような実情の中で、令和6年度にそれぞれ百年以上の校史を持つ下ノ加江小学校と幡陽小学校が休校となります。2校の休校も、この人口減少の流れの延長線上にあり、その歴史の一コマと捉えることができます。